

函館東商工会 経営発達支援事業評価委員会議事録

1. 開催日時 平成30年6月29日(金) 午前10時00分

2. 開催場所 函館東商工会 本所会議室

3. 出席者数 9名(内事務局4名)

(外部有識者)

吉村 順幸 氏(函館市戸井支所 産業建設課長)

小林 竜司 氏(函館市恵山支所 産業建設課長)

木戸 幸治 氏(函館市楳法華支所 産業建設課長)

西村 雅人 氏(函館市南茅部支所 産業建設課長)

(アドバイザー)

舞草 裕一 氏(北海道商工会連合会 道南支所長)

(函館東商工会)

木村 周治(函館東商工会 事務局長)

遠藤 一也(函館東商工会 経営指導員)

伊瀬 泰行(函館東商工会 経営指導員)

石田 成樹(函館東商工会 補助員)

4. 欠席者数 2名

議事の経過と結果

定刻10時00分、事務局は開会を宣した。続いて中市商工会長より開会の挨拶が述べられた後、事務局は本日の出席者をそれぞれ紹介しお礼を述べた。(中市商工会長においては公務のためここで退席)その後、事務局の進行で議事に入った。

第1号議案 平成29年度経営発達支援事業の実施報告及び事業評価と見直しについて

はじめに事務局は、「I-1. 地域の経済動向調査に関する事」について、評価のポイントと平成29年度の実績を資料により説明、実績をもとに自己評価をBとしたが、外部有識者による評価及び意見を求めた。

—小規模事業者への情報提供の仕方はどうしているか

「税務申告など巡回訪問した際に業種別に使えるような情報を抜粋し提供することで戦略立案等に活用していただいている。」

—補助金や融資の申請につながったとあるが、どういうものか

「新函館北斗駅からレンタカーを利用する観光客が3割程度いることが調査の結果分かったので、そこをターゲットとして持続化補助金を活用し看板やチラシを作ったり、日本公庫の

マル経融資を活用して資金需要に対応した。」

—その他意見もなく、評価については、Bで全員異議なく承認された。

つづいて事務局は、「I-2. 経営状況の分析に関すること」について、評価のポイントと平成29年度の実績を資料により説明、実績をもとに自己評価をCとしたが、外部有識者による評価及び意見を求めた。

—特に意見もなく、評価についてはCで全員異議なく承認された。

つづいて事務局は、「I-3. 事業計画策定支援に関すること」について、評価のポイントと平成29年度の実績を資料により説明、実績をもとに自己評価をCとしたが、外部有識者による評価及び意見を求めた。

—特に意見もなく、評価についてはCで全員異議なく承認された。

つづいて事務局は、「I-4. 事業計画策定後の実施支援に関すること」について、評価のポイントと平成29年度の実績を資料により説明、実績をもとに自己評価をCとしたが、外部有識者による評価及び意見を求めた。

—フォローアップ件数が少なかったのは事業計画を策定した小規模事業者が少なかったためということであるが、事業計画の大切さを訴えるためのセミナーや相談会をせっかく開催しているのに参加者が少ないのも問題なのではないか。

「その通りであり今後の課題である。小規模事業者が参加しやすい時間帯など考慮してセミナーを開催し参加者数を増やしていきたい。」

—評価については、Cで全員異議なく承認された。

つづいて事務局は、「I-5. 需要動向調査に関すること」について、評価のポイントと平成29年度の実績を資料により説明、実績をもとに自己評価をCとしたが、外部有識者による評価及び意見を求めた。

—イベントによる経済効果調査のなかで地域イベント3回とあるが、どのイベントで調査する予定だったか。

「当地域で毎年他団体が開催している“ひろめ舟祭り”、“恵山つつじ祭り”、“とことん浜味まつり”、“恵山ごっこ祭り”の中での3回を予定していたが、中止になったイベントがあったり、当会の都合もあわず実施できなかった。」

—イベントによる経済効果調査のなかで当イベント1回とあるが、商工会では毎年2回開催していなかったか。

「函館市元気いっぱい商店街等支援交付金を活用して、平成27年度以前までは毎年、南茅部地区の縄文まつり1回と残りの旧3町村地区を持ち回りで1回開催し年2回開催としていたが、平成28年度からは規模を大きくして旧4町村地区を持ち回りで年1回開催とした。」

—その他意見もなく、評価については、Cで全員異議なく承認された。

つづいて事務局は、「I-6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること」について、評価

のポイントと平成29年度の実績を資料により説明、実績をもとに自己評価をBとしたが、外部有識者による評価及び意見を求めた。

—共同チラシについては、せっかく作ったのだから新聞折り込みだけではなく、レンタカーやレンタルバイク、レンタルサイクルなどの会社なんかでも食事処の情報が欲しいはずなので、そういったところを利用して効果を上げてみてはどうか

「今後実施する際はそうさせていただきたい。」

—その他意見もなく、評価については、Bで全員異議なく承認された。

つづいて事務局は、「Ⅱ．地域経済の活性化に資する取組」について、評価のポイントと平成29年度の実績を資料により説明、実績をもとに自己評価をCとしたが、外部有識者による評価及び意見を求めた。

—フォトコンテストの作品はホームページで公表しないのか、公表する場合は撮影ポイント等も掲載できないものか、また、今後SNSやInstagramなんかも活用して情報発信できないものか

「入選作品は当会ホームページで公表しているが、撮影ポイントまでは載せていない。今後SNS等も含めて検討していきたい。また、作品の一部は観光ポスターに活用して地域の魅力発信に努めていく予定である。」

—観光ポスターを作成する際に施設情報等のQRコードを入れて紹介してあげてはどうか。

「時間的、技術的な問題があるため今後に活かしたい」

—自己評価をCとしているが、ボリューム的な面を加味してBでもいいのではないか。

「出席者全員に確認したところ、全員異議がなかったことからBに変更した。」

つづいて事務局は、「Ⅲ－1．他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関する事」について、評価のポイントと平成29年度の実績を資料により説明、実績をもとに自己評価をBとしたが、外部有識者による評価及び意見を求めた。

—評価については、Cで全員異議なく承認された。

つづいて事務局は、「Ⅲ－2．経営指導員等の資質向上等に関する事」について、評価のポイントと平成29年度の実績を資料により説明、実績をもとに自己評価をAとしたが、外部有識者による評価及び意見を求めた。

—評価については、Aで全員異議なく承認された。

第2号議案 平成30年度経営発達支援事業の実施について

事務局は、平成30年度における9事業すべての数値目標を一通り説明した。そのうち、「5．需要動向調査に関する事」のなかの「観光客向けアンケート調査720件」と、「6．新たな需要の開拓に寄与する事業に関する事」のなかの「プレミアム商品券（建設券）事業1回」については、予算の都合上、実施困難である旨を説明し、外部有識者の承認を得た。

その他、外部有識者による評価及び意見を求めた。

—観光客入込み数とか新規雇用創出などで具体的数値目標があれば教えてほしい

「経営発達支援計画においての目標はあるが、交流人口の増加を図るなど大まかに捉えており、定量的な成果目標は出していない。観光客入込み数においては、商工会単独だけでの地域活性化は難しいため、この経営発達支援事業の機会を活かして地域の関係団体等との情報交換をしながら一緒に取り組んでいくことで、結果的に交流人口等の目標を持っていければいいと考えている。」

—ご当地グルメの開発で600万円を見込んでいますが、具体的にどのようなことをやろうとしているのか教えてほしい。

「この事業はどうしても飲食店のやる気が大事になってくることから、事前に各店を回り意向を確認したところ16店舗が興味を示したため申請に至った。しかしながら、開発の難しさや厳しさを理解していない店舗も多くあるので、7月3日にご当地グルメ講演会を開催し講演後に最終的な意向確認をした上で、じゃらんと契約をしたいと考えている。仮にじゃらんと契約した場合は、定期的な開発指導の他、北海道じゃらんへの掲載、パンフレットやポスター、ホームページ作成を見込んでいます。」

—30年度の数値目標がほとんど前年度並みになっているが、目標に達していない事業もあるにもかかわらず、目標を増やしている事業もあるが大丈夫なのか。

「地域内の他団体とも連携して目標達成に向けて頑張っていきたい。」

その他、全体を通して意見等を諮ったところ特に意見等もなく終了した。

以上で、全案件の審議を終了したので、円滑な運営に対し謝意を述べ事務局は閉会を宣した。

時に11時40分であった。

平成30年6月29日

経営発達支援事業評価委員会

開催日時：平成30年6月29日（金）午前10時00分

開催場所：函館東商工会 本所会議室



函 館 東 商 工 会

経営発達支援事業評価委員会 次第

1. 開 会

2. 会長挨拶

3. 議 事

第1号議案 平成29年度経営発達支援事業の実施報告
及び事業評価と見直しについて

第2号議案 平成30年度経営発達支援事業の実施について

4. そ の 他

5. 閉 会

第1号議案

平成29年度経営発達支援事業の実施報告
及び、事業評価と見直しについて

I. 経営発達支援事業の内容

1. 地域の経済動向調査に関すること【指針③】

【総括】

これまで、統計資料や白書等で収集した情報は、内部資料として活用するに留まっていたが、29年度では、これらの情報に加え、交流人口の動向や地域資源の実態を意識した情報収集をすることが出来たとともに、これらの情報を抜粋加工し巡回訪問時に小規模事業者へ提供することも出来た。

また、専門家の指導の下、各社の景況感や経営課題等に関する調査や分析を実施し、ホームページにて情報提供をしたことで、小規模事業者に新たな気づきや刺激を与えられたとともに、職員においても調査スキル向上につながった。

以上の収集した情報を経営分析や戦略立案等で活用していただき、補助金や融資の申請につながったため、一定の効果が得られた。

自己評価	評価委員会評価
B	

評価A: 目標以上の実績、評価B: 概ね目標に近い実績、
評価C: 概ね目標の半分程度の実績、評価D: ほぼ実績なし

(1) 各種統計等による情報収集

年次経済財政報告（経済財政白書）、函館市観光動向調査を収集し、巡回訪問等で情報提供を行い、事業計画書作成時や補助金申請時などでの活用策を提案し、経営分析における外部環境の把握に活用いただいた。

目標値	実績値
2回	2回

(2) 二次交通調査（函館市・交通機関）

北海道新幹線開業戦略推進会議が実施した北海道新幹線開業後の二次交通動態調査をもとに、二次交通利用意向や外国人旅行者の旅行動向等のデータを抜粋し、巡回訪問時に情報提供した。

目標値	実績値
2回	1回

(3) 交流人口調査（ホテル・道の駅・飲食店）

函館市の公共施設カルテや指定管理者業務実績シートを活用し、ホテル・道の駅等の利用実態から交流人口を推定し、人口が減少する中で利用者が増えている施設に着目し、その施設からの誘客策等を提案した。

目標値	実績値
2回	1回

(4) 漁業実態調査（函館市・各漁協）

函館市水産課より当地域内の生鮮魚貝藻類の取扱い実績を収集し、観光資源に成りうる魚種等について地域振興委員会で検討した。また、これらの情報を巡回等で飲食店を中心に提供した。

目標値	実績値
1回	1回

(5) 地域内景況調査 《伴走型補助金》

調査項目は、専門家の指導のもと作成し、回収したデータは同診断士の指導のもと分析し当会ホームページにて情報提供を行った。

講師 中小企業診断士 網野 征樹 氏

上期／調査期間 8月 7日～8月31日（回収 58／244 企業・23.7%）

下期／調査期間 12月28日～1月19日（回収 60／242 企業・24.8%）

※調査結果は別紙のとおり

目標値	実績値
2回	2回

2. 経営状況の分析に関すること【指針①】

【総括】

これまでの課題とされていた正確な現状分析に向けて、29年度では専門家の指導の下で、ヒアリングシートを作成した。項目は「企業概要」、「環境分析」、「今後の経営方針」、「具体策の内容」の4項目で構成されており、聞き洩らし防止の他、隠れた課題や経営資源等の掘り起しにも効果的なため、今後は現実的で実現可能性の高い事業計画の策定が期待できる。なお、29年度においては、シートの完成が遅れたため活用実績が少なかったが、次年度以降は目標を上回るよう取り組みたい。

また、「ネット de 記帳」の分析機能を活用し、業界平均値と各指標を比較した情報を提供したことで、経営的な弱点や強みを発見することができた。

自己評価	評価委員会評価
C	

評価A: 目標以上の実績、評価B: 概ね目標に近い実績、
評価C: 概ね目標の半分程度の実績、評価D: ほぼ実績なし

(1) ヒアリングシートによる経営状況の把握 《伴走型補助金》

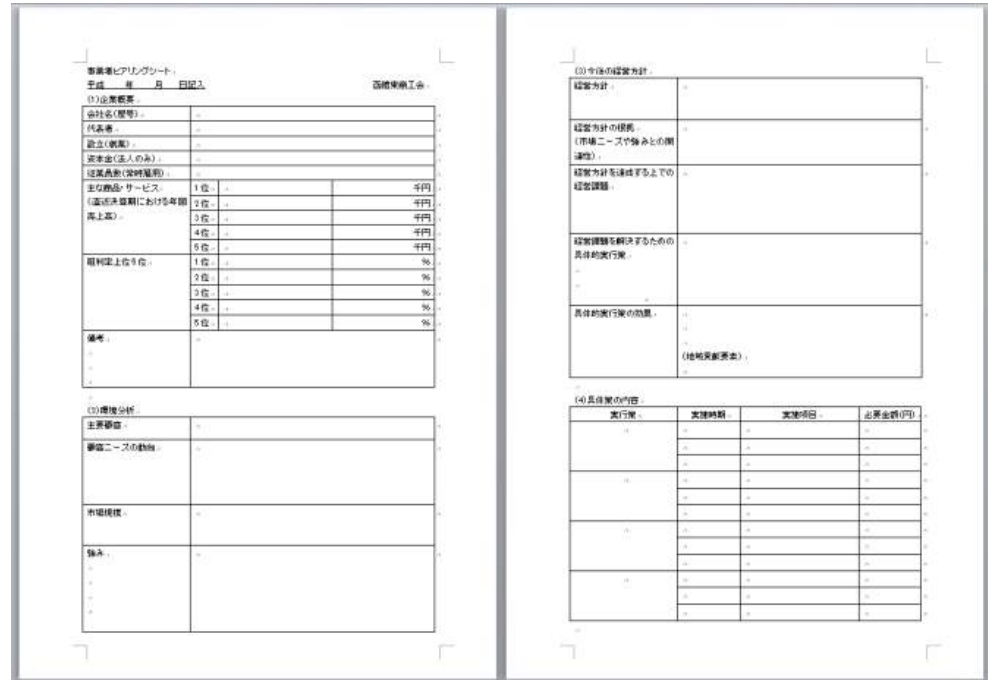
事業者の本質的な課題や必要な支援を正確に聞き出すとともに、聞き洩らしを防ぐため、ヒアリングシートを専門家の指導のもと作成し、その活用方法も職員研修で学んだ。

講師 中小企業診断士 網野 征樹 氏

作成研修 11月11日(土)

活用研修 2月10日(土)

目標値	実績値
50件	10件



(2) 経営分析

商工会独自の会計ソフト「ネット de 記帳」の分析機能を使用して、記帳代行をしている32企業に対し経営計数分析表や損益分岐点図表、経営分析レーダーチャートなどを決算時に提供し、全国の平均値との比較で自社の現状を把握していただいた。



目標値	実績値
30件	32件

3. 事業計画策定支援に関すること【指針②】

【総括】

事業を健全に成長させるためには、事業計画書の策定が欠かせないが、これまで当会では、事業計画書の概要や作成手順、気を付けるポイントなどを小規模事業者には細かく指導してきておらず、そのため事業計画書を策定していないばかりか、事業計画の重要性を認識していない事業主が多くを占めていた。29年度では、セミナー2回と個別相談会を2回開催したことで、参加者においては前述の問題が解消された。

また、創業・第2創業には巡回訪問時に事業計画策定を支援し、事業承継に関しても当会会員の意向が確認できたため、次年度以降は事業承継を予定している事業主の事業承継計画書の策定を支援していきたい。

自己評価	評価委員会評価
C	

評価A: 目標以上の実績、評価B: 概ね目標に近い実績、
評価C: 概ね目標の半分程度の実績、評価D: ほぼ実績なし

(1) 事業計画策定セミナー（個別相談会） 《伴走型補助金》

セミナーでは専門家を招へいし、事業計画書の必要性、事業構想・戦略をカタチにするためのコツやテクニックなどを説明いただいた。また、セミナー翌日に個別相談会を開催し、事業計画書策定を支援した。

【セミナー】

講師 中小企業診断士 網野 征樹 氏

本所 1月10日（水）出席者4名

支所 1月12日（金）出席者5名



【個別相談会】

講師 中小企業診断士 網野 征樹 氏

本所 1月11日（木）相談者1名

支所 1月13日（土）相談者2名

目標値	実績値
2回	4回

(2) 事業計画策定

事業計画策定に向けたセミナーや個別相談会に参加された事業者や、融資や補助金の申請を申込みされた事業者に対し、事業計画書の重要性を説明し、巡回訪問にて事業計画策定を支援した。

目標値	実績値
30件	6件

(3) 創業・第2創業支援

昆布漁師の強みを生かし新たに昆布製品の製造販売を始めた事業者と、建設業及び漁業の先細りを懸念して新たにトラックパーツの販売を始めた事業者の計画書策定を支援した。創業後の5年間は会社を成長させる重要な時期なので、重点的に支援していきたい。

目標値	実績値
2件	2件

(4) 事業承継支援

当会会員48企業より事業承継診断書を収集し意向を確認した。診断書のなかで、事業承継の意向はあるが相談する専門家がない事業者に対しては、専門家を派遣し事業承継計画書を策定することで円滑な事業承継を進めていきたい。また、決算指導時においても専従者給与の支払状況にて後継者候補の有無を確認し、対象事業者には計画書策定をアプローチしていきたい。



目標値	実績値	
2件	0件	実態把握 47件

4. 事業計画策定後の実施支援に関すること【指針②】

【総括】

29年度では、年度内に事業計画（事業承継計画）を策定した小規模事業者を中心に巡回訪問し、補助金や融資等での支援や、遂行状況の確認や軌道修正を行い、フォローアップを行った。また、31年10月の消費税制改正に向けて、価格転嫁対策や軽減税率対策のセミナーを開催し、事業計画の円滑な遂行を支援した。

29年度では、アンケート等で、事業計画や事業承継計画の策定状況が把握できたため、次年度以降は、当会で支援した以外の事業計画（事業承継計画）においても、着実な遂行に向けて支援していきたい。

自己評価	評価委員会評価
C	

評価A: 目標以上の実績、評価B: 概ね目標に近い実績、
評価C: 概ね目標の半分程度の実績、評価D: ほぼ実績なし

(1) 巡回による支援

今年度は6事業所の事業計画書を策定し、1事業所につき4回巡回訪問しフォローアップを行った。

その際に金融支援をはじめ、看板やチラシ作成のための持続化補助金の申請を指導する等して計画遂行を支援した。



また、平成31年10月の消費税率の改正に向けて、増税分を適正に価格転嫁し円滑に事業計画が遂行できるよう、消費税軽減税率対応等専門家支援事業を活用して、講習会、個別相談会を開催した。

講師 税理士法人西谷会計事務所
税理士 高野 恭彰 氏
12月12日（火）
出席者 講習会6名・相談会3名



目標値	実績値
120回	24回 うち、持続化補助金1件 マル経融資 3件 セミナー1回

(2) 創業・第2創業支援

創業後3年未満の2企業を年4回ずつ巡回訪問し支援した。事業計画遂行にあたり、必要となる許認可の取得や正確な財務分析が行えるよう記帳指導、また、共同広告やイベントへの参加を促し自店や商品PRを支援した。

目標値	実績値
16回	8回

(3) 事業承継支援

巡回訪問時に事業承継の意向がある事業者に事業承継補助金制度を紹介したり、北海道商工会連合会が作成した事業承継パンフレットを配布し、商工会が事業承継の相談窓口であることを広く周知し、円滑な事業承継に向けて支援を行った。



目標値	実績値	
2件	0件	制度周知 1回

5. 需要動向調査に関すること【指針③】

【総括】

これまでは、メディアが発信する情報や、上部団体が発行する機関誌の情報でしか需要動向を把握しておらず、収集した情報も小規模事業者へ発信することや職員間で共有することもなかった。そのため、29年度では、業種別の先進的取り組みを積極的に収集し、巡回訪問時に関連記事を紹介し、新たな気づきや刺激を与えた。また、人口減等で経済規模が縮小に向かう中、地域の発展のためには、観光を中心とした交流人口に頼らざるを得ないことから、地域資源の利活用状況や、土産品のトレンド、イベントの在り方、地域資源を活用した新商品のモニタリング、インバウンドの動向等を調査し、巡回訪問等で情報提供した。今後は、収集したデータを加工して当会HP等でも提供していきたい。

自己評価	評価委員会評価
C	

評価A: 目標以上の実績、評価B: 概ね目標に近い実績、
評価C: 概ね目標の半分程度の実績、評価D: ほぼ実績なし

(1) 先進事例の情報提供

以前から経営革新を志していた小規模事業者に対し、上部団体が発行する機関誌である月刊商工会（全国連）や北の瓦版（道連）の中から、先進的な関連記事をピックアップし、巡回訪問時に提供し新たな気づきを与えた。



目標値	実績値
4回	6回

(2) 観光地での定点調査

地域内の道の駅2ヶ所と温泉ホテル2ヶ所、温泉施設1ヶ所の売店、及び当会の函館空港ビル内の当会アンテナショップを巡り、地域資源を活用した商品や販売状況等の調査を行った。また、その中から地域性の強い商品を当会イベントの抽選会景品で使用したことで、イベント終了後も問合せがあり反響があった。今後も地域資源に成り得る食材の掘り起しや商品開発、ブラッシュアップを支援していきたい。

目標値	実績値	
アンケート 300件	アンケート 0件	視察調査 5ヶ所

(3) 地域土産品の動向調査

「じゃらん」、「Travel Note」などの旅行サイトが実施している土産品ランキングから、今のトレンドを解析し巡回訪問時に情報提供した。今後は当会のアンテナショップがある函館空港や近隣の大型イベント会場でアンケート調査を実施し、より身近な土産品や来函観光客の動向について情報提供していきたい。

目標値	実績値	
アンケート 50件	アンケート 0件	トレンド調査 2回

(4) イベントによる経済効果調査

当会主催のイベントに出店した小規模事業者からヒアリングにより効果等を確認した。また、出店しなかった事業者に対しては何故出店しないのか理由等をヒアリングした。出店者からは売上は当初から期待しておらず、広告宣伝や地域貢献が目的との回答が多かった。また、出店しない理由については利益が見込めないからが大きな理由であったことから、今後は各店の増収増益につながるよう内容を見直していきたい。

目標値	実績値
当会イベント 1回	当会イベント 1回
地域イベント 3回	地域イベント 0回

(5) モニター調査

当会主催のイベントに出品があった新商品をスタッフ等の関係者に試食してもらい、味や値段、パッケージ等について評価いただいた。評価結果は、イベント後出店者に伝え、今後の改良や新商品の開発に活用していただいた。

今後は、各店から申し込みがあれば新商品を主婦であり母親であり、時に消費者と事業者の両方の顔を持つ商工会女性部員にモニターとなっていただき、商品进行评估していただくことで、新商品等のブラッシュアップを図っていきたい。

目標値	実績値
1回	1回

(6) 来函外国人観光目的調査

函館市観光部観光企画課等が実施した平成28年度函館市観光動向調査により来函外国人の観光目的等の実態を把握した。函館の観光情報を旅行雑誌やガイドブックに次いで、インターネット、旅行代理店の順で入手していることが分かったことから、積極的にこれらを活用してアプローチしていきたい。

目標値	実績値
0回	1回

6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること【指針④】

【総括】

地域の人口減少が急速に進み、市場が縮小していく中、小規模事業者の持続的な発展には、販路開拓支援は必要不可欠であり急務である。

そのため29年度では、地方こそ販路開拓を進める上でITの利活用が欠かせないことから、ネットショップやホームページ開設に向けたセミナー・個別指導の実施、IT経営なんでも相談室を開設した。その他には、函館市内全域の北海道新聞購読者約6万3千世帯に、小規模事業者の主力商品や新商品を載せた共同チラシを折り込みしたり、商談会・物産展等の情報提供を行うなどして、小規模事業者の販路開拓に向けた支援に注力してきた。次年度以降も29年度の反省と課題を活かして引き続き重点的に取り組んでいきたい。

自己評価	評価委員会評価
B	

評価A: 目標以上の実績、評価B: 概ね目標に近い実績、
評価C: 概ね目標の半分程度の実績、評価D: ほぼ実績なし

(1) ネットショップ活用による需要開拓

ITコーディネータによるITセミナーでは、電子商取引に関する市場調査結果やネットショップの形式等、失敗するケース等を説明いただいた。また、巡回訪問時や施策普及パンフレットにて、当会会員が無料で活用出来る商工会ホームページ作成支援ツール「SHIFT」を紹介し、買い物カゴ機能や、宿泊予約機能の利用を促し、オンラインショップの普及に努めた。



目標値	実績値	
ショップ開設 2件	ショップ開設 0件	セミナー 2回 パンフ作成 1冊

(2) ホームページ開設による需要開拓 《伴走型補助金》

HP作成セミナーを2回、ITコーディネータを12回派遣し、無料のクラウドサービスを活用して4企業がHPを開設した。また、商工会のHP作成支援システムSHIFTを活用して1企業のHP開設を支援した。

ア. セミナー

講師 ITコーディネータ 市村 淳一 氏

本所 10月27日(金) 出席者10名

支所 10月30日(月) 出席者 4名



イ. 専門家派遣

講師 ITコーディネータ 市村 淳一 氏

支援先A (南茅部地区・小売業)

- ① 11月13日 (月)
- ② 11月30日 (木)
- ③ 12月14日 (木)



支援先B (南茅部地区・飲食業)

- ① 11月14日 (火)
- ② 11月29日 (水)
- ③ 12月13日 (水)



支援先C (恵山地区・サービス業)

- ① 11月16日 (木)
- ② 12月 1日 (金)
- ③ 12月21日 (木)



支援先D (恵山地区・飲食業)

- ① 12月18日 (月)
- ② 1月18日 (木)
- ③ 2月 1日 (木)



ウ. SHIF Tを活用したHP作成支援



目標値	実績値
HP作成 5件	HP作成 5件 セミナー 2回

(3) SNSを活用した需要開拓 《伴走型補助金》

ITコーディネータによるIT経営なんでも相談室を本所、支所、各3回ずつ開催した。フェイスブックに係る相談をはじめ、経営ソフトの導入やネット環境整備などの問題が改善された。

講師 ITコーディネータ 市村 淳一 氏

ア. 本所

- ① 1月23日(火) 1名
- ② 1月30日(火) 1名
- ③ 2月13日(火) 1名

イ. 支所

- ① 1月24日(水) 1名
- ② 2月 7日(水) 1名
- ③ 2月14日(水) 1名



目標値	実績値
3件	6件

(4) イベント出店事業

自社の商品PRと売上増進を図るため、巡回訪問時に「はこだてグルメサーカス」や「はこだてFOODフェスタ」の情報提供をして出店を促した。参加費用の面やスタッフ不足により出店を断念する事業者が多かった。そのため、今後は伴走型補助金の活用等により出店しやすい環境を創り出す必要があると感じた。

目標値	実績値
10件	6件

(5) 共同広告事業 《伴走型補助金》

函館市内全域の北海道新聞購読者約6万3千世帯に、小規模事業者14企業の主力商品や新商品を載せた共同チラシを12月8日に折り込みし販路拡大を図った。

14企業からのアンケートの結果、12月期の売上では、前年対比で5企業が増加し、うち4企業が5%以上増加した。

また、1月期の売上では、7企業が前年対比で増加し、うち7企業が5%以上の増という結果であった。



目標値	実績値
3回	1回
10件	14件

(6) 移動販売等による取組み事業

地域で移動販売や御用聞き販売に取り組んでいる小規模事業者4社に対して持続的発展に向けて、車両メンテナンス等に係る資金需要や困りごと等を確認した。

目標値	実績値
3件	4件

(7) 移住者や高齢者等支援による取組み事業

移住者や高齢者、買い物弱者などが衣食住に関する困りごとに対応できる体制を構築するため、まずは当会職員が各社の提供する商品やサービス、営業日や営業時間等の実態を把握する必要があることから、29年度では情報収集のための調査票を職員間で協議し作成した。次年度以降は巡回訪問時に、この調査票を使って情報収集をはじめ、商品・店舗等の写真撮影をし、順次、スマホ対応の「SHIFT」で各社のホームページを作成し、カテゴリー別に公開していくこととする。将来的には、全企業のHP作成を目指し、消費者の利便性、事業者の受注機会の増進に寄与していきたい。

目標値	実績値	
5件	0件	調査票作成 1回 HP作成 5件

(8) 介護リフォームによる取組み事業

超高齢化社会を迎え、増え続ける在宅介護者をターゲットとして無視できない存在になってきたことから、29年度では職員間で協議し介護需要に関する調査票を作成した。

次年度以降は、社会福祉協議会のヘルパーさん等に調査票記入への協力を求めていき、収集した情報を分析し、小規模事業者へ提供し受注拡大を支援していく。

主な調査項目については、介護リフォームの需要状況、訪問介護における対象外サービスの需要状況（犬の散歩など）、また、地域内にこういう商品やサービスがあれば介護が楽になる等といったA4用紙1枚の調査票となっている。

目標値	実績値	
講習会 1回	講習会 0回	
情報提供 1回	情報提供 0回	調査票作成 1回
成約件数 1件	成約件数 0件	

(9) アンテナショップ新規出店支援

当会のアンテナショップがある函館空港ビルディング(株)を訪問し、消費者ニーズや新規出品の可能性等を探った。また、そこで得られた情報は巡回訪問を通し小規模事業者に提供した。視察や空港職員へのヒアリングの結果、まだ若干の出品スペースが確認できたので、多くの事業者が参加できるよう支援していきたい。

また、従前から出品している7事業所の継続支援を行い、地域特産品等のさらなる販路拡大や地域PRを図った。

目標値	実績値	
新規出店 2件	新規出店 0件	既存支援 7件 ヒアリング調査 2回

(10) 道の駅新規出品支援

地域にある2つの道の駅と2つのホテルの特産品売店の商品構成を見て回り、どの食材やどの商品分類が多く占められているのか、また、POP広告ではどのような説明書きがされているのか、商品陳列ではどのような商品が目立つところに配置されているのかなどを調査し、新規出品を提案する際に受け入れられやすい商品の在り方について探り、巡回訪問を通し小規模事業者へ情報提供した。

目標値	実績値	
新規出店 2件	新規出店 0件	視察調査 2回

(11) 商談会・情報交換会を活用した取組み

巡回訪問時に道商工連主催の「北の味覚、再発見！！」等の商談会や、「北のアメ横さっぽろ」等の物産展の開催情報を製造業や飲食業を中心に提供した。自社商品に自信がないといった声や、どうせ商談が成立しないだろうとのあきらめの声、商品展示・演出方法がわからない、店を空けられないなどの声があり参加を断念するケースが多かった。

商談が成立しなくてもバイヤーから商品への改善指導をいただくことで、商品のブラッシュアップが図られることから、引き続き参加を促していきたい。また、職員が予め視察し商談会の雰囲気や情報を提供することで参加しやすい環境を創り出すことも必要と感じた。

また、東京商工リサーチや帝国データバンクを活用し、健全な取引ができるよう新規や継続中の相手先企業の与信調査を支援した。

目標値	実績値	
参加者数 5件	参加者数 0件	情報提供 12件
成約件数 1件	成約件数 0件	与信調査 10件

Ⅱ. 地域経済の活性化に資する取組

【総括】

地域に根差して事業活動を行う小規模企業の活力向上には、個々の事業者の支援のみでなく、地域全体が面的に活性化することが必要であることから、29年度では、イベントにおいては3漁協や地元漁師と連携して近海の水産物を直売や海鮮汁等で提供し賑わいを創出したり、初の試みとなるフォトコンテストでは、地域のビューポイント等新たな観光資源の掘り起しが出来たとともに、作品展を通じ撮影ポイントへの周遊効果にもつながった。また、「北海道・北東北の縄文遺跡群」が世界遺産に登録されることで、大きな経済効果をもたらされることが期待されるため、イベントを通じ関係団体との連携や、認識を深められたので、今後も縄文文化が観光資源に成り得るよう知識の習得に励んでいきたい。

さらに、観光客のリピーターを増やすためには、接客力の向上が欠かせないことから、ホテルの接客セミナーを実施した。

自己評価	評価委員会評価
C	

評価A: 目標以上の実績、評価B: 概ね目標に近い実績、
評価C: 概ね目標の半分程度の実績、評価D: ほぼ実績なし

(1) 経済効果の高いイベントの開催

函館市元気いっぱい商店街等支援交付金を活用してホテル恵風駐車場でイベントを開催した。(9/24)当初の計画では年2回実施する予定であったが規模を大きくし1回にしたことで来場者が増え効果が高まった。



目標値	実績値
2回	1回

(2) 地域資源活用に係る関係団体との情報交換

当会主催のイベントに、地域内の3漁協や地元漁師と連携して、時期的に供給可能な魚種や、販売方法や演出方法、安価で提供できる仕組みづくり等を協議した。

目標値	実績値
4回	6回

(3) 縄文文化利活用に係る関係団体との情報交換

南かやべ縄文まつり実行委員会が主催する縄文まつりの準備等に参加し、縄文文化の普及・啓発のあり方について意見交換や、熱意等を確認した。

目標値	実績値
2回	1回

(4) 小規模事業者の意識改革と資質向上に向けた取り組み

消費税軽減税率対応等専門家支援事業を活用して地域内のホテルに専門家を派遣し、接客スキルの見直しと接客レベル向上を図った。(12/20～12/21)

講師 (有)オフィス・K 藤本 恭子 氏

目標値	実績値
講習会 2回	講習会 1回
大学校派遣 1名	大学校派遣 0名

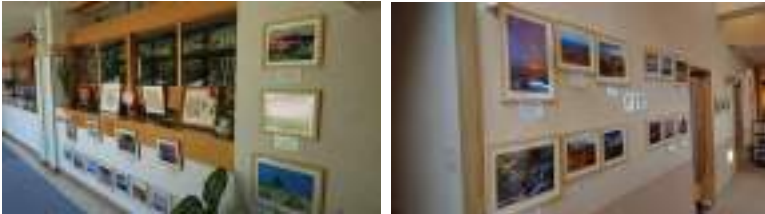
(5) 地域資源を活用した地域ブランドの開発

当会主催のフォトコンテストを開催し、ビューポイント等新たな観光資源の掘り起しを実施した。28名から117点の出品をいただき、7月21日開催の審査会で春夏秋冬ごとに最優秀賞1点と優秀賞2点を選出した。また、入選作品は地域内のホテルや函館市役所等で展示し地域をPRした。

春 最優秀賞	夏 最優秀賞	秋 最優秀賞	冬 最優秀賞
			
早春の天の川	ビックウエーブ	晩秋の流れ	朝光に照らされて

【作品展示】

ホテル函館ひろめ荘 8月25日（金）～9月8日（金）の15日間
 ホテル恵風 9月11日（月）～9月25日（月）の15日間
 函館市役所市民ホール 10月10日（火）～10月13日（金）の4日間



目標値	実績値	
情報収集 2回 委員会 2回	情報収集 0回 委員会 0回	(フォトコンテスト) 作品募集 1年 審査会 1回 作品展示 3回

(6) 観光に係る地域PRへの取組み

観光体験は実施できなかった。土産品開発においては需要動向調査から得た情報等を巡回時に提供し、小規模事業者3社が土産品等開発やその後の商品PR等に役立てた。

目標値	実績値
観光体験 1回	観光体験 0回
土産品開発 1回	土産品開発 3回

Ⅲ. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組

1. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること

【総括】

29年度も日本政策金融公庫や、道南うみ街信用金庫、渡島信用金庫の融資担当職員との定期的な情報交換等を通じ、円滑な業務遂行にあたることができた。また、日本政策金融公庫主催によるマル経協議会では、渡島・檜山管内の経営指導員と支援ノウハウ等を情報交換したことで支援力が向上した。さらに、自治体をはじめ、漁協や地元漁師や、管内商工会との連携により地域イベントを成功させることが出来た他、中小企業診断士や税理士、ITコーディネーター等を年34回、小規模事業者の下に派遣したり、当会の職員研修で活用し、課題解決や支援力向上につながられた。

自己評価	評価委員会評価
B	

評価A: 目標以上の実績、評価B: 概ね目標に近い実績、
 評価C: 概ね目標の半分程度の実績、評価D: ほぼ実績なし

(1) マル経協議会による情報交換

春と秋の年2回、日本政策金融公庫主催により開催されるマル経協議会で、渡島・檜山管内の商工会並びに商工会議所の経営指導員によって、地域情勢や各商工会の経営支援の取り組み等についての情報交換を行った。

目標値	実績値
2回	2回

(2) 近隣4商工会との情報交換会

新函館北斗駅から大沼、鹿部、当地域の観光地を巡るルート策定を沿線の4商工会と協議する予定であったが、折り合いがつかず頓挫した。しかし、渡島管内の5商工会と連携し、イベントの賑わい創出に向けた取組みについて助言を受けたとともに、当会主催のイベントでは各地域の特産品を販売していただき、特産品の販売やPR等の手法が学べた。また、来場者数の増加にも大きく貢献した。

目標値	実績値	
観光ルート 4回	観光ルート (中止)	物産展 1回

(3) 金融懇談会

金融懇談会については、日程上の都合で実施できなかったが、日常の業務の中で、日本政策金融公庫や、道南うみ街信用金庫、渡島信用金庫の融資担当職員とは、融資斡旋等の際に地域情勢や支援ノウハウ等を情報交換しており、これが円滑な業務遂行に結びついており、今後も継続していきたい。

また、当会の経営発達支援計画についても理解いただいております。今後も連携を深めながら、金融・情報の両面から地域の小規模事業者を支援していきたい。

目標値	実績値	
金融懇談会 1回	金融懇談会 0回	情報交換 21回

2. 経営指導員等の資質向上等に関すること

【総括】

例年通り北海道商工会連合会・中小機構が主催する研修への参加に加え、全国商工会連合会が実施するeラーニングによる研修を日々受講したことで、小規模事業者の高度化・多様化するニーズに対応できる力を身に付けることが出来た。また、今後SNSに関する相談が増えることを想定し、ITコーディネータを招いての職員研修を実施し支援体制を整えた他、OJTによる後進の育成では、指導者側においては指導力の向上、受講側では技術の習得につながった。今後も職員間でサポートし合い支援体制の向上を図っていききたい。

自己評価	評価委員会評価
A	

評価A: 目標以上の実績、評価B: 概ね目標に近い実績、
評価C: 概ね目標の半分程度の実績、評価D: ほぼ実績なし

(1) 研修会参加

以下の役職別の研修に参加し、最新の道や国の施策や、小規模事業者支援に関する知識を習得したことで、小規模事業者からの相談への対応の幅が広がった。

(事務局長)

①全道商工会事務局長研修会	6月13日
②道南ブロック事務局長研修会	10月27日
③渡島管内商工会職員協議会第1分科会研修会	12月25日

(経営指導員)

①全道商工会経営指導員研修会	2名	6月1日
②伴走型小規模事業者支援推進事業担当者会議	2名	6月8日
③消費税軽減税率対策窓口相談等事業に係る経営指導員研修会	2名	7月26日
④函館地区青色申告会指導員研修会	2名	10月16日
⑤中小企業支援担当者等研修会（経営改善支援の進め方）	1名	10月23～25日
⑥むらおこし事業（経営発達支援事業関連）	2名	11月10日
⑦中小企業支援担当者等研修会（キャッシュフローと利益・資金計画策定支援）	1名	11月28～30日
⑧指導員税務研修会	2名	1月22日
⑨消費税軽減税率対策窓口相談等事業に係る経営指導員研修会	1名	1月31日

(補助員)

①地域ブランディング研修	7月27日
②経営指導員向け小規模事業者支援研修	8月1～3日

- ③中小企業支援者研修会 8月31日
- ④消費税軽減税率対策窓口相談等事業に係る道南ブロック補助員研修会 9月14～15日
- ⑤全道商工会補助員等研修会（所得税・消費税の実務） 11月6～7日

(記帳専任職員)

- ①共済事業事務担当者会議 5月26日

目標値	実績値
局長 2回	局長 3回
指導員 4回	指導員 15回
補助員 1回	補助員 5回
記帳専任 1回	記帳専任 1回

(2) IT研修会開催 《伴走型補助金》

専門家を招き、職員向けのフェイスブック使いこなしセミナーを実施した。

講師 ITコーディネータ 市村 淳一 氏

12月7日(木)～8日(金)

また、日頃から業務の効率化につながるソフト等を紹介しあったり操作方法を教え合った。さらに、パワーポイントやプロジェクターを購入し活用したことでプレゼンテーション能力が向上した。



目標値	実績値	
12回	12回	講習会 1回

(3) WEB研修受講

経営指導員が経営指導をしていく上で必要となる学習・研修をWeb上で行っているオンライン研修を、経営指導員以外の補助員、記帳専任職員にも受講させた。



目標値	実績値
4名	4名

(4) OJT

当計画をはじめ、総会やイベント、組織体制のあり方などのミーティングを毎月実施した。また、研修で学んだことの情報提供や支援で悩んでいることなどを話し合い解決を図った。さらに、専門家派遣には職員を帯同させ手法を学ばせた。

目標値	実績値
ミーティング	ミーティング
12回	12回
研修報告	研修報告
8回	8回
事例報告	事例報告
2回	2回
専門家帯同	専門家帯同
3回	12回

第2号議案

平成30年度経営発達支援事業の実施について

I. 経営発達支援事業の内容

1. 地域の経済動向調査に関すること【指針③】

	H29	H30	H31	H32	H33
各種統計等による情報収集	2回	2回	2回	2回	2回
二次交通調査（函館市・交通機関）	2回	2回	2回	2回	2回
交流人口調査（ホテル・道の駅・飲食店）	2回	2回	2回	2回	2回
漁業実態調査（函館市・各漁協）	1回	1回	1回	1回	1回
地域内景況調査（小規模事業者5業種各10件）	2回	2回	2回	2回	2回
上記調査を分析した情報の提供回数 （商工会HPで公表）	3回	3回	3回	3回	3回

2. 経営状況の分析に関すること【指針①】

	H29	H30	H31	H32	H33
ヒアリングシートによる経営状況の把握	50件	50件	50件	50件	50件
経営分析	30件	30件	30件	30件	30件

3. 事業計画策定支援に関すること【指針②】

	H29	H30	H31	H32	H33
セミナー開催件数	2回	2回	2回	2回	2回
事業計画書策定件数	30件	30件	30件	30件	30件
創業・第2創業支援件数	2件	2件	2件	2件	2件
事業承継支援件数	2件	2件	2件	2件	2件

- 事業計画（事業承継計画）策定に係る個別指導（予算53万円）
 - ・中小企業診断士による個別指導を10企業予定
- 6次産業化・農商工連携入門セミナー（予算14万円）
 - ・6次産業化・農商工連携とは（中小企業診断士）
 - ・6次産業に取り組む地元漁師による事例発表（地元漁師）
 - ・事業計画の必要性と支援ツール（補助金・融資等）の紹介（中小企業診断士）

4. 事業計画策定後の実施支援に関すること【指針②】

	H29	H30	H31	H32	H33
巡回による支援（事業計画書策定件数×年4回）	120回	120回	120回	120回	120回
創業・第2創業支援件数	16回	24回	24回	24回	24回
事業承継支援件数	2件	2回	2回	2回	2回

5. 需要動向調査に関すること【指針③】

	H29	H30	H31	H32	H33
先進事例の情報提供	4回	4回	4回	4回	4回
観光客向けアンケート調査		720件		720件	
観光地での定点調査 (既存商品のアンケート) (新メニューのアンケート)	300件 300件		300件 300件		300件 300件
地域土産品の動向調査 (函館空港アンケート) (市内イベントアンケート)	50件 50件		50件 50件		50件 50件
イベントによる経済効果調査 (商工会まつり) (その他の3開催イベント)	1回 3回	1回	1回 3回	1回	1回 3回
モニター調査	1回	1回	1回	1回	1回
高齢者・障害者世帯の実態調査		1回		1回	
来函外国人観光目的調査		1回		1回	

6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること【指針④】

	H29	H30	H31	H32	H33
ネットショップ活用による需要開拓	2件	2件	2件	2件	2件
ホームページ開設による需要開拓	5件	5件	15件	15件	15件
SNSを活用した需要開拓	3件	3件	3件	3件	3件
イベント出店事業	10件	10件	10件	10件	10件
共同広告事業 (実施回数)	3回	3回	3回	3回	3回
(事業者数)	10件	10件	10件	10件	10件
移動販売等による取組み事業 (事業所数)	3件	3件	3件	3件	3件
(新規参入事業所数)	-	-	-	1件	1件
移住者や高齢者等支援による取組み事業	5件	5件	5件	8件	10件
プレミアム商品券(建設券)事業	-	1回	-	1回	-
介護リフォームによる取組み事業					
(講習会開催回数)	1回	-	-	1回	-
(介護情報提供回数)	1回	1回	1回	1回	1回
(成約件数)	3件	3件	3件	3件	3件
アンテナショップ・道の駅を活用した取組み					
(アンテナショップ新規出店数)	2件	2件	3件	3件	3件
(道の駅新規取り引き事業者数)	2件	2件	3件	3件	3件
商談会・情報交換会を活用した取組み					
(商談会参加事業者数)	5件	5件	7件	7件	10件
(成約件数)	1件	1件	2件	2件	3件

●地域資源を活用したメニュー開発による需要開拓支援（予算600万円）

- ・北海道じゃらんと連携事業（新・ご当地グルメ）
- ・プロデュース：ヒロ中田氏

櫛リクルートライフスタイル 地域創造部 じゃらんリサーチセンター エグゼクティブプロデューサー

●自社HP開設による需要開拓支援（予算23万円）

- ・ITコーディネーターによる個別指導を2企業予定（1企業につき指導3回）

II. 地域経済の活性化に資する取組

	H29	H30	H31	H32	H33
経済効果の高いイベントの開催数	2回	2回	2回	2回	2回
地域資源活用に係る関係団体との情報交換	4回	4回	4回	4回	4回
縄文文化利活用に係る関係団体との情報交換	2回	2回	2回	2回	2回
小規模事業者の意識改革と資質向上に向けた取り組み （講習会開催）	2回	2回	2回	2回	2回
（中小企業大学校派遣）	1人	1人	1人	1人	1人
地域資源を活用した地域ブランドの開発 （アイデアの募集）	2回	2回	2回	2回	2回
（活用に向けた専門委員会開催数）	2回	2回	2回	2回	2回
観光に係る地域PRへの取り組み （観光ルートマップの策定）		1回		1回	
（漁業体験（釣り等）の実施）	1回	1回	1回	1回	1回
（土産品の開発）	1回	1回	1回	1回	1回

III. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組

1. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること

	H29	H30	H31	H32	H33
マル経協議会による情報交換件数	2件	2件	2件	2件	2件
近隣4商工会との情報交換会開催件数	4回	4回	4回	4回	4回
金融懇談会開催件数	1回	1回	1回	1回	1回

2. 経営指導員等の資質向上等に関すること

	H29	H30	H31	H32	H33
各種研修会参加回数（事務局長）	2回	2回	2回	2回	2回
（経営指導員）	4回	4回	4回	4回	4回
（補助員）	1回	1回	1回	1回	1回
（記帳専任職員）	1回	1回	1回	1回	1回
I T研修会開催件数	12回	12回	12回	12回	12回
WE B研修受講者数	4人	4人	4人	4人	4人
O J Tによる資質の向上及び情報共有					
（ミーティング開催件数）	12回	12回	12回	12回	12回
（研修会参加報告）	8回	8回	8回	8回	8回
（事例等報告）	2回	2回	2回	2回	2回
（職場内研修）	3回	3回	3回	3回	3回